
主人公総受けキャラ + スマブラ + リクエストキャラ + で逃走中...

クロノスの刺客

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

主人公総受けキャラ＋スマブラ＋リクエストキャラ＋ で逃走中

【Nコード】

N2397W

【作者名】

クロノスの刺客

【あらすじ】

作者・天の河により、とある場所にて集められた主人公総受けシリーズのキャラ達。そこで、強制的に逃走中の参加が告げられる。そんな彼らを含め、その他多くのキャラ達が繰り広げられる逃走中。、とくとご覧あれ。

1 この作品には、扱いの酷いキャラ、倫理上不適切な表現、力オス表現等がございます。苦手な方は、読まないことをお勧めしま

す。

2 また、感想を書く際には、他の読者や作者とのトラブルを起さないこと、荒らしコメはしないこと、進行に対する文句は言わないことをお願いします。

ブローグという名のネタバラシ（前書き）

先に、天の河作の『遅れた七夕企画！』の方を先に読まれることをお勧めします。

プロローグという名のネタバラシ

この話は、七夕企画の続編的な話です。

七夕企画で各々思い思いに楽しんだ面々は、再び作者によってとある場所に集められていた。

カ「もう、一体なんなのよ。」

サリア「今度は何？ 今日とは前回の七夕見たく特別な日でもなさそうだし。」

ルト「全く、あの作者は一体何を考えておるのじゃ。わらわ達の作品なんか、まだ1話しか投稿していないというのに。」

ゼルダ「プロローグの1話のみで更新止めているというのは前代未聞ですわ。」

ヒ「プロローグの1話のみって(汗)。酷いにもほどがあるわ。」

ゼルダの一言に時オカ組に対して、同情の一言を述べるヒカリ。

サ「まあまあ、みんな落ち着けて。」

リンク「そうだよ、きっと作者にも考えがあるんだからさ。」

作者に対する怒りを露わにする女性陣を必死で宥めるサトシとリンク。

ハル「サトシは呑気すぎかも。」

マロン「妖精君も、こんなことしてる場合じゃないでしょ。お友達
の要請を探しに行かなきゃならないのに。」

リンク「そりゃ、俺はナビイを探さなきゃならないけど……。」

ルト「だったらこんなところで、油など売っておる場合ではないゾ
ラ。」

リンク「は、はぁそうだね……。」

リンクはただ苦笑を浮かべる。そしてサトシとリンクは同じこと
を思った。

サ・リンク（なんで俺達、怒られてるんだ……。）

知らん。 オイツ！

天「みんな、集まったな。」

するとそこへ、作者・天の河が登場。

ヒ「今度は何よ。」

サ「急にワタシ達を呼び出しておいて。」

天「まあまあ。各々忙しい中集まってもらったのはほかでもない。
お前たちにある報告をしに来た。」

べ「報告？」

ルト「一体なんじゃ、さつさと言うゾラ。」

天「報告と言ってもたった1つだけだ。お前たちは『逃走中』は知ってるか？」

ハル「逃走中って、毎回逃走者に選ばれた業界人が賞金獲得を駆けてハンターから逃げ切るあれ？」

マロン「今や、シリーズ化するほどのスペシャル番組よね。このNOSでも、同盟が出来るほど多くの作品があるし。」

なぜ、アニメ組とゼル伝組が『逃走中』について詳しく知っているのかというツッコミは無しの方角で。

天「今回呼び出したのはほかでもない。お前たち全員、その『逃走中』に参加してもらおう。」

女性陣「はい!？」

作者の突然の宣告に、当然キョトン顔の女性陣。

天「それでは早速、逝って来い」

カ「逝って来い」「じゃないわよ!」

ヒ「しかも字違っし……。」

サリア「ワタシ達はまだ死にたくないわよ!」

マロン「それにわたし達、まだ参加するって言ってないじゃない！」

横暴な作者に総ツツコミの女性陣。

天「何言ってるんだ？ お前たちの参加意思ならとっくに受け取っているぞ。」

女性陣「はあ！？」

作者の発言の意図が分からず、再びキョトン顔の女性陣。

天「この間の七夕企画で、短冊に願い事書いてもらったよな？」

女性陣「うん。」

天「実はあれ、ECチップを埋め込んだ逃走中の参加申し込み用紙だったんだよね。」

ドヤ顔できつぱり言い張る作者。

ルト「そんなこと聞いていないゾラ。」

天「だってそうすると、ドッキリの意味がないじゃん。ちなみに、拒否権は全くもってないから。」

ゼルダ「ドツキリ……。しかも拒否権がないなんて……。」

コトネ「横暴にもほどがあるってことね。」

女性陣は作者の策略に引っかけり、不満げの様子。だが、今まで蚊帳の外だった主人公のこの2人は、

サ「へえ、逃走中か・・・。」

リンク「俺達が実際に参加できるなんて、思ってもみなかったな。」

女性陣とは対照的な反応を示す。

天「おつ、サトシとリンクは参加する気満々というところか。」

サ「もちろんだぜ。」

リンク「俺、こういうの好きだし。それに逃走中にも、一度参加してみたかったしね。」

すぐに参加することを作者に伝えるサトシとリンク。

天「さすがだな。そのギャーギャー文句を言う誰かさんとは大違いだ。」

女性陣（カチン（怒））

天の河の一言に思わずムツと来た女性陣。

サ「なあ、みんなも参加しようぜ。」

女性陣「えっ!?!」

リンク「そつだよ。今話題になっている逃走中に出られるんだよ。」

こんな機会はめったにないと思うんだけどな。」

女性陣の参加を必死で促すサトシとリンクに、

ヒ「ま、まあ、サトシがそこまで言うんなら・・・。」

ハル「出てみるのもいいかも・・・。」

サリア「リンク、一緒に頑張ろうね・・・。」

心負けて、渋々参加の意思を表明する女性陣。

サ「ホントか、やったな。リンク。」

リンク「うん。みんなこのままボイコットしたら、どうしようかと思ってたんだ。さすがにサトシ以外知っている人がいないと不安だしね。」

女性陣が参加すると聞いて、ホッと一安心したサトシとリンク。そして、

サ・リンク「みんな、ありがとう。」

主人公総受けシリーズお馴染みの、主人公キラースマイル（たった今、命名）。

女性陣（//////////）

当然、それぞれ好意を抱く人物の満面のスマイル顔を見て、思わず見とれてしまう女性陣。

天「ま、まあ、サトシとリンクを呼んでおいて正解だったな・・・。」

作者は苦笑を浮かべながら、サトシとリンクに感謝する。

天「というわけで、女性陣も参加ということでもいいんだな。」

ヒ「ええ、参加するわ。」

アイ「上等だわ、逃げ切つてやるうじゃない。」

ルト「自首なんか、絶対にしないゾラ。」

ベ「ミッションも積極的に参加するわよ。」

強制参加に対する不満から、気持ちが悪化中への意気込みが変わった女性陣。

天「それじゃあ本番は明日だから、今日は俺があらかじめ予約しておいたホテルでゆっくり休んでおいてくれ。それとお前たちの他にも逃走者がいるから、そこるところよろしく。」

マロン「他の逃走者か。一体どんな人たちなんだろうね。」

ベ「そんなことは明日になったら、分かることよ。それよりも明日は絶対逃げ切つて見せるわ。」

こうして呼び出された一行は、作者があらかじめ予約しておいたホテルに向かった。彼らや他の逃走者が繰り広げられる逃走劇の始

まった瞬間でもあった・・・

続く

プロローグという名のネタバラシ（後書き）

とりあえず次回を含めた3話分は、主人公総受けキャラ スマブラ
リクエスト+ の順でオープニングゲームを済ませます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2397w/>

主人公総受けキャラ+スマブラ+リクエストキャラ+ で逃走中...

2011年10月9日14時20分発行